様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

1 事業名	景観形成誘導事業	コード	151102

2 担当部課	部等	建設水道部	課等	都市計画課	作成者	高橋　一博

3 事業概要				
目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
	政　策	都市空間の充実	施　策	良好な都市景観の保存と創造
	予算科目	景観情報費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	景観法第４条、第１６条　　屋外広告物法第４条		

●事業の内容（DO）

4 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		優れた景観資源を活かしながら、岡谷市の個性ある景観を保全・育成し、市民、事業者との協働による景観づくりを行う。
目的	対象者	市民、事業者
	意　図	景観形成

5 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

・市都市計画審議会研修会において景観計画案を説明し、高さ基準等を含めた景観形成基準の理解を得た。　・屋外広告物条例による許可地域の広告物について許可を行った。
・屋外広告物適正旬間において関係団体との市内パトロールを実施した。

前年度の課題への対応	法に拠る景観計画の発行には、一定の手順と時間が掛かるため、任意の景観計画の発行により景観行政を一歩前進しようと努力したが、それに至らなかった。

6 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	違反広告物の撤去数又は違反パトロール数			単位	件
実績値	1	1	1		
＊指標の説明	違反広告物の撤去数又は違反パトロール数				
② 成果指標（指標名）	景観の保全・誘導数			単位	件
目標値	7	10	4		
実績値	10	4	8		
達成度	142.9%	40.0%	200.0%		
＊指標の説明	景観計画区域内における大規模行為の届出件数				
＊目標値の設定方法の説明	前年度の実績から設定				

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	289,000	213,000	339,000	278,000
経常経費	289,000	213,000		
臨時的経費				
＊臨時的経費の説明				

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費	720,000	720,000	400,000	960,000
正規職員の人数（人）	0.09	0.09	0.05	0.12
③ 合計コスト（①＋②）	1,009,000	933,000	739,000	1,238,000
前年度比		92.5%	79.2%	167.5%
財源内訳　一般財源	1,009,000	933,000	739,000	1,238,000
財源内訳　特定財源				
＊特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	1,009,000	933,000	400,000	
前年度比		92.5%	42.9%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性**　**高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性**　**高い**

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　200.0%	1	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　200.0%	1	

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 本市における良好な景観形成に対して総論的には反対意見はないが、景観形成基準の一部である色彩基準や湖周の高さ基準に対しては、一部に反対意見があり、理解が得られていないため、事業が停滞している。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 色彩基準と湖周の高さ基準は、景観形成における重要な要素となっているため、反対者に対して理解を得るようにする。
改善開始時期	２９年４月から

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B